アレルギー薬も ジェネリックに切り替えを!

花粉症に代表されるアレルギー性疾患にもジェネリック医薬品があります。一定期間の服用が見込まれる薬ですので、節約のためにもジェネリック医薬品への切り替えをぜひご検討ください。

先発品 VS ジェネリック薬価比較例

※2016年10月、『かんじゃさんの薬箱』にて調査。

内服薬

【一般名エピナスチンの場合】

先発品	アレジオン錠20［日本ベーリンガー］	1錠120.3円
ジェネリック	エピナスチン塩酸塩錠20mg「ファイザー」	1錠 29.4円
	差額	90.9円

76%減

内服薬

【一般名モンテルカストナトリウムの場合】

先発品	キプレス錠10mg［杏林］／シングレア錠10mg［MSD］	1錠203.5円
ジェネリック	モンテルカスト錠10mg［キョーリンリメディオ］	1錠101.8円
	差額	101.7円

50%減

2016年9月新発売 ※オーソライズドジェネリック（AG）

点鼻薬

【一般名フルチカゾンの場合】

先発品	フルナーゼ点鼻薬50μg56噴霧用［GSK］	4.08mg8mL 1瓶 1385.7円
ジェネリック	フルチカゾン点鼻液50μg「イセイ」56噴霧用	4.08mg8mL 1瓶 593.5円
	差額	792.2円

57%減

点眼薬

【一般名レボカバスチンの場合】

先発品	リボスチン点鼻液0.025%［ヤンセンファーマ］	0.025%1mL 131.9円
ジェネリック	レボカバスチン点眼液0.025%「ファイザー」	0.025%1mL 87.5円
	差額	44.4円

34%減

ジェネリック医薬品に切り替えるには

ジェネリック医薬品を利用するには、まず医師や薬剤師に相談しましょう。

医師からもらった処方せんで、

①変更不可の欄が空白の場合や「✓」、「×」の印がない場合

または、

②品名ではなく一般名（その薬の有効成分名）が書かれている場合

は、ジェネリック医薬品に変更が可能です。

注意 すべての薬にジェネリック医薬品が存在するわけではなく、医師の判断によって処方されない場合や、希望するジェネリック医薬品が薬局に置かれていない場合もあります。

「ジェネリック医薬品の在庫が豊富」など、地域ごとのジェネリック医薬品に積極的な薬局や医療機関は以下で調べることができます。

●けんぽれんホームページ
「ジェネリック医薬品取扱い薬局検索」
http://www.kenporen.com/health-insurance/generic_yakkyoku/

●日本ジェネリック医薬品学会ホームページ
「かんじゃさんのくすり箱」
http://www.generic.gr.jp/

ジェネリック医薬品に変更した場合の『お薬についてのお知らせ（差額通知書）』をお送りしています

差額通知書は、レセプト（診療報酬明細書）データをもとに、対象者が実際にお支払いになった薬代（①）と、ジェネリック医薬品が出ている先発品をジェネリック医薬品に切り替えた場合の薬代（②）とを比較し、両方の差額から「おおよその削減額」をお知らせするものです。

ジェネリック医薬品への切り替え状況を分析した結果、差額通知書をきっかけに、多くの方が切り替えをされています。

なお、今回の差額通知書は、自己負担額の削減額が大きい方を対象に、２月頃に発送を予定しています。

※オーソライズドジェネリック（AG）とは？

先発医薬品と主成分・添加物・そして製法までもが同じジェネリック医薬品のことです。

先発医薬品メーカーがジェネリック医薬品メーカーに特許の使用権を与えることにより、添加物なども含めて先発医薬品とほぼ完全に同じ医薬品が、ジェネリック医薬品として製造されているのです。